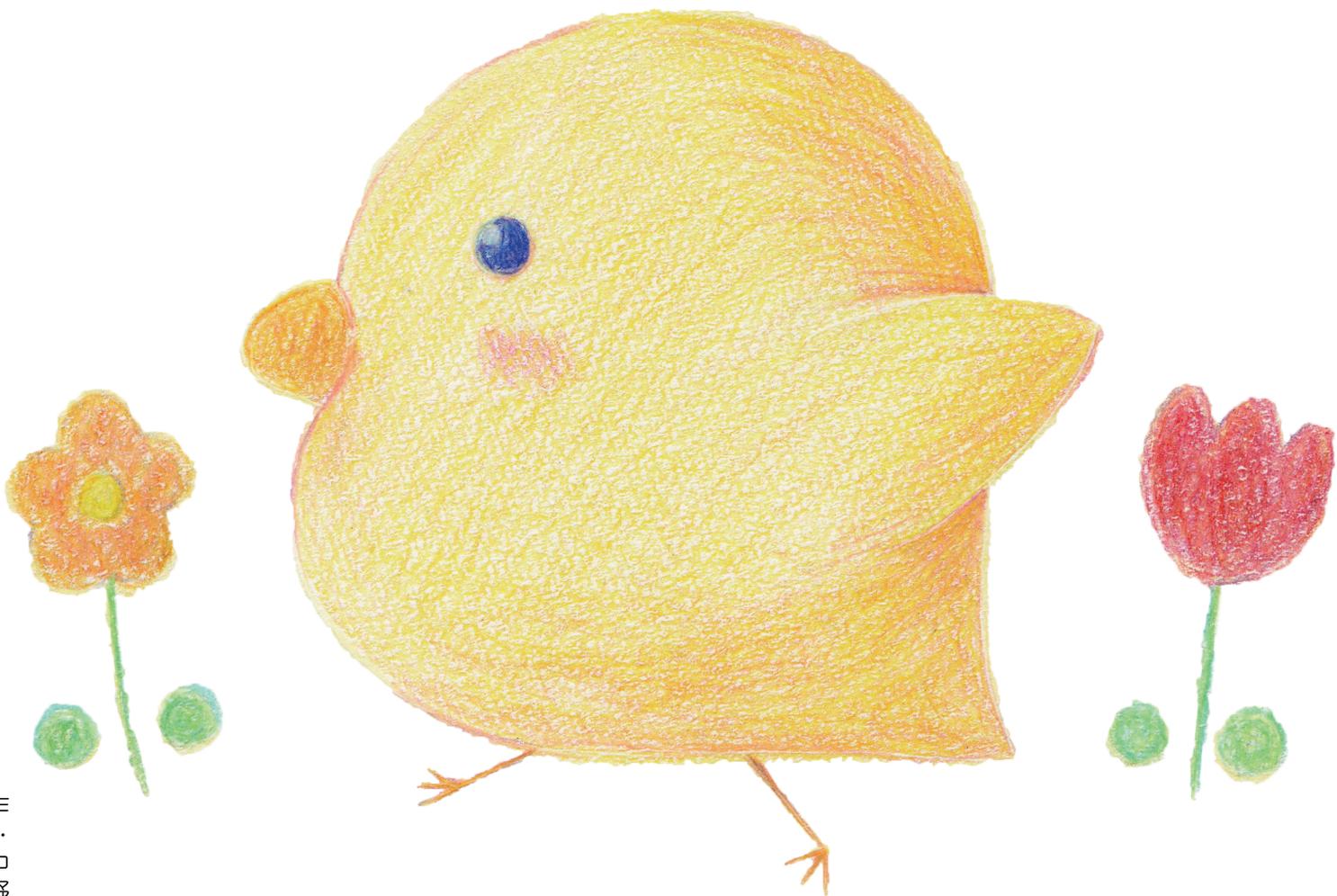


走る ひよこ君



イラスト：池田裕夏
作：中野皓稀

ひめい君はそなたへ君の姿をみておもえます。

『じゃあほむのうさぎはひめい君はひななんだよん？』

ひめい君、じいは生まれてから一度も大きなうさぎで

鳴いたことがありません。

おかあねえおとうさんおはなはうさぎか鳴けるよ。

うさぎですが、ひめい君は今鳴きたのです。

「えいほまねえおひななんだよん」

ういせえ。へい君がひめい君に言えます。

ひめい君のじまったおんな顔が

みえたからへい君が。

「ほむだっしねうさぎ、みえなよ

ちがってらるうさぎがうさぎだったにやろ。

でもういせえういせえ

ひめい君の姿をみし、

ほむいごかひなならおひなはいいよ

すねほむうさぎだと思ったんだよん」

ネのうさぎをうさぎ

ひめい君ははじめて自分のおかげで

お友達がげんきがいたうさぎおひなです。

「ネのうさぎ。ほむほむおひなはいいよ

うさぎおひなうさぎうさぎうさぎ

もつとおおひなの友達を笑顔にするよ

「ネのうさぎうさぎ」

ひめい君のはまたはじりだします。

うさぎが今の自分がいけいいたから。

はじりつみななを元気づけるのがひめい君はうさぎだと思ったから。

